

浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

雨上がりの若葉が、やさしい皀月の光にきらめくさまも美しい季節です。
おかげさまで、3月に施行されました第34回歯科衛生士国家試験において、40期生全員が合格し、それぞれが歯科衛生士としての新しいスタートをきることが出来ました。学校では新入生を迎え、真新しい白衣に袖を通した初々しい姿が見られます。クラスメイトと親睦を図りながら、元氣よく賑やかにすごしております。2、3年生も一つ学年が進級し、授業や実習に真剣に取り組む様子が印象的です。今年度も学生たちの成長を見守りながら専任一同力を合わせて教育により一層精進してまいりたいと思います。



誓いの言葉

1年 伊藤 里咲

私たち43期生は、暖かな春の訪れとともに、浜松歯科衛生士専門学校の新入生として、入学式を迎え本校の一員となることが出来ました。この新たな門出に立派な式を挙げていただけたことを心より感謝申し上げます。

歯科衛生士という大切な職業に就くための第一歩を踏み出し、三年間の学校生活では、歯科衛生士としての知識と技術を磨き、患者さんに寄り添う心を育てていきたいと思います。私たちの手で人々の未来が少しでも明るくなるように、また、信頼される歯科衛生士として成長できるよう、一生懸命に努力を重ねていきたいと思います。

歯科医療は、人々の健康と笑顔を支える大切な仕事です。医療人になる者としての自覚と責任を持ち、日々の学びを大切に、仲間と支え合いながら、困難に直面しても初心を忘れず、誠実に取り組んでいきたいです。

入学後すぐに授業もスタートし、難しい専門用語に悪戦苦闘したり、初めて袖を通した白衣に感激したりしながら、ここで勉強することの喜びをかみしめています。私たちを支えてくださる先生方、家族、友人への感謝の気持ちを胸に、それぞれが思い描く歯科衛生士になれるよう日々研鑽を積んでいきたいと思います。



初心を忘れず 40期 佐藤菜月

私は、コロナ禍で感染の怖さを感じながら過ごす日々の暮らしの中で、健康でいることが何よりも大切だと実感し医療の道を志したいと強く思うようになりました。新しい環境に飛び込むことには正直不安もありましたが「人々の健康を支える歯科衛生士になる」という覚悟を決め、23歳で学びの道を歩み始めました。歯科医師の先生方の専門性の高い講義や初めてづくしの実習は何もかも新鮮であり、刺激的で学ぶ意欲が掻き立てられました。いつしか卒業後は、社会から必要とされるプロフェッショナルな歯科衛生士でありたい、という高い志を持ち、この三年間皆勤で勉学に励んでまいりました。決して楽な道ではありませんでしたが、クラスメイトや先生方、家族の支えのおかげで乗り越え、歯科衛生士の資格を得ることが出来ました。近年、治療中心の歯科医療から予防中心の歯科医療へと変化が起きている中、私は4月より予防歯科の分野を専門とする歯科医院で患者様の口腔の健康を継続的にサポートする存在として貢献できるよう、スタートをきることとなりました。健康の大切さを理解してもらうのはもちろんのこと、歯科衛生士という職業が口腔の健康から全身の健康を守ることができる素晴らしい職業であることも多くの人に知ってもらいたいと考えています。医療職をめざした時の初心を忘れず、これからも尽力してまいりたいと思います。

